

全国610か所のレジャー・集客施設 運営実績 & 動向調査 テーマパーク・遊園地・動物園・水族館等の業態別集客ランキング掲載 『レジャーランド&レクパーク総覧2016』

総合ユニコム株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：河崎清志）は、全国の主要なレジャー・集客施設を対象に、最新の運営実績と集客動向に関する独自調査を実施しました。

本調査の資料、詳細な集計・分析結果は『レジャーランド&レクパーク総覧 2016』として編集し、2015年10月31日に発刊いたしました。

【調査結果の概要】

2014年度はほぼ半数の施設が集客増に リニューアルやイベントの実施・充実が集客に大きく貢献 「花関連イベント」「夜間イベント」「食関連イベント」の集客効果大

【2014年度の集客状況】

◎2014年度は49.9%の施設が前年度を上回る集客を果たした。集客アップ要因は、イベントの実施・充実による効果、リニューアルや新規アトラクションの導入効果、広告・宣伝活動の効果、天候に恵まれたことなどがあげられている。また、前年度と比較してインバウンドの増加をあげた施設が増えた。

◎業態別では、特に遊園地でプラス基調が強く、リニューアルや新規施設の導入、さまざまなイベントの開催、無料・割引キャンペーンなど多様な集客施策で客層を拡大させたことが奏功した。このほか集客の安定している動物園、イルミネーションなどのイベントが好調だった植物園などがプラス基調に。一方、水族館では近年のリニューアル効果が沈静化して集客減となる施設が出るなどマイナス基調が強くなった。

※2 ページに年間入場者数上位10施設、3 ページに業態別集客ランキング上位5施設を掲載

【リニューアルの動向】

◎回答施設の39.5%が2014年4月～2015年8月までにリニューアルを実施。大型プロジェクトや視点の新しい施設の導入が目立つ。また、巨大立体迷路やエデュテインメント要素のあるものなど、ファミリー、シニア、3世代へターゲットを拡大する戦略がうかがえる。

【集客貢献したイベントの傾向】

◎2014年度に開催したなかで集客効果が高いとされたのは、花関連イベント、夜間イベント、食関連イベント。このほか、参加体験型（宝探し・謎解き）イベント、サブカルチャー関連イベント、音楽・ダンスイベント、スポーツ関連イベントも集客効果があったとされ、イベントの多様化が進展している。

『レジャーランド&レクパーク総覧 2016』

発刊日 2015年10月31日
体裁 A4判/縦型/470頁+付録CD-ROMデータベース
定価 80,000円+税

【年間入場者数上位 10 施設】

順位	施設名	所在都道府県	入場料	入場者数(人)		増減率
				2013 年度	2014 年度	
1	東京ディズニーランド・東京ディズニーシー	千葉	有料	31,298,000	31,377,000	100.3%
2	ナガシマリゾート	三重	無料	15,450,000	15,050,000	97.4%
3	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	大阪	有料	10,500,000	12,700,000	121.0%
4	刈谷ハイウェイオアシス	愛知	無料	8,200,000	8,428,000	102.8%
5	淀川河川公園	大阪	無料	5,643,596	6,462,430	114.5%
6	おかげ横丁	三重	無料	6,545,000	5,785,000	88.4%
7	MEGA WEB	東京	無料	5,100,000	5,700,000	111.8%
8	東京スカイツリー	東京	有料	6,190,000	5,310,000	85.8%
9	東京ドームシティ アトラクションズ	東京	無料	5,012,000	5,287,000	105.5%
10	河川環境楽園	岐阜	無料	4,141,275	5,007,000	120.9%

※「ナガシマリゾート」は三井アウトレットパーク ジャズドリーム長島を含む

※「おかげ横丁」「河川環境楽園」は1～12月の集計

※「東京ドームシティ アトラクションズ」は2～1月の集計

【業態別集客ランキング 上位5施設 ※入場有料施設】

【テーマパーク】「ハリー・ポッター」効果でUSJが躍進。上位施設が好調の半面、小規模施設では集客減もみられる

施設名	所在地	入場者数(人)	前年度比
東京ディズニーランド・東京ディズニーシー	千葉県	31,377,000	0.3%
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	大阪府	12,700,000	21.0%
ハウステンボス	長崎県	2,794,000	12.8%
琉球村	沖縄県	1,480,000	23.3%
志摩スペイン村 パルケエスパニーヤ	三重県	1,339,000	-5.6%

【遊園地】リニューアルやイベントの効果で集客増の施設が目立つ。ターゲットを広げて集客拡大を図る方向性へ

施設名	所在地	入場者数(人)	前年度比
鈴鹿サーキット	三重県	1,989,193	1.4%
よみうりランドト	東京都	1,342,000	8.8%
ひらかたパーク	大阪府	1,093,070	14.9%
としまえん	東京都	1,033,561	-1.0%
ツインリンクもてぎ	栃木県	674,211	10.3%

【動物園】夜間営業が集客に貢献。「動物選挙」など話題性があるユニークなイベントが増える

施設名	所在地	入場者数(人)	前年度比
東京都恩賜上野動物園	東京都	3,693,757	5.8%
名古屋市東山動植物園	愛知県	2,271,248	1.9%
旭川市旭山動物園	北海道	1,651,430	0.1%
神戸市立王子動物園	兵庫県	1,167,439	5.8%
天王寺動物園	大阪府	1,143,213	0.9%

【水族館】リニューアルの反動、地域観光低迷で集客減目立つ。夜間営業、食のイベントが集客に寄与

施設名	所在地	入場者数(人)	前年度比
沖縄美ら海水族館	沖縄県	3,230,000	6.5%
海遊館	大阪府	2,190,000	-9.6%
名古屋港水族館	愛知県	1,967,223	-3.6%
東京都葛西臨海水族園	東京都	1,472,108	0.4%
サンシャイン水族館	東京都	1,291,000	-5.0%

【植物園】天候に恵まれた上位施設は集客好調。はままつフラワーパークは「花博」開催効果で大幅増

施設名	所在地	入場者数(人)	前年度比
あしかがフラワーパーク	栃木県	1,228,335	14.0%
京都府立植物園	京都府	887,168	10.3%
はままつフラワーパーク	静岡県	771,932	96.2%
東京都神代植物公園	東京都	723,879	15.7%
大阪市立グリーンセンター	大阪府	634,162	16.1%

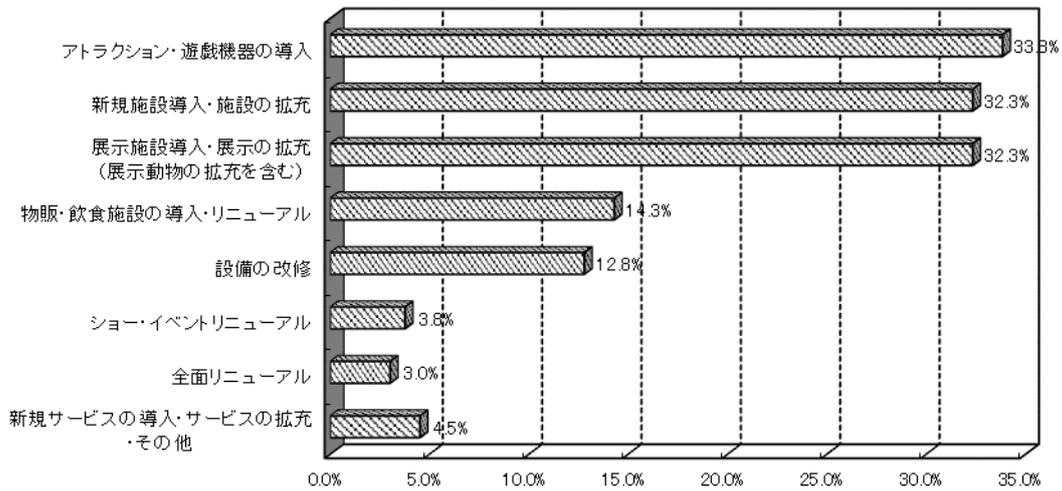
【博物館・美術館・科学館】日本科学未来館がチームラボなどユニークな体験型イベントで100万人超え

施設名	所在地	入場者数(人)	前年度比
国立新美術館	東京都	2,620,350	29.2%
東京国立博物館	東京都	1,889,040	42.9%
金沢21世紀美術館	石川県	1,761,324	19.5%
国立科学博物館	東京都	1,735,420	-26.6%
日本科学未来館	東京都	1,466,367	71.1%

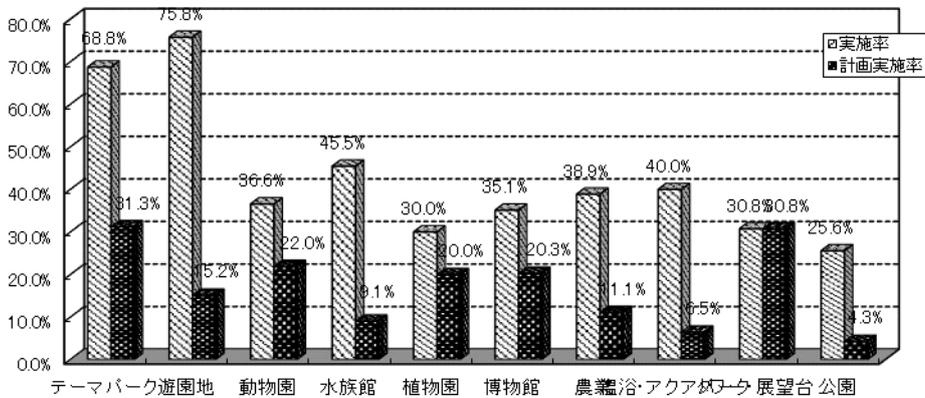
【業態別増減要因】

業態	主な増減要因、効果的施策	業態	主な増減要因、効果的施策
テーマパーク	リニューアル、イルミネーション、イベント	農業関連施設	イベント、体験プログラム。風評被害からの回復／夏季の雨天、台風などの天候不順
遊園地	リニューアル、イルミネーション、イベント、コラボ・タイアップ、割引・無料キャンペーン	温浴施設、アクア・ウオーターパーク	コラボイベント、スクール／残暑が短くシーズン短縮、設備工事
動物園	リニューアル、ナイトズー、イベント、メディア露出	ドーム・アリーナ	公演数などによる
水族館	リニューアル／リニューアル効果の沈静化	劇場	公演数などによる
植物園・フラワーパーク	春先の好天、花関連のイベント、イルミネーション、食関連のイベント、夜間イベント	タワー・展望台	天候不順、地域の観光入込みの減少
博物館・美術館・科学館	企画展・特別展による、イベント、メディア露出／天候不順	公園・庭園	春先の好天、花関連のイベント、食のイベント、インバウンドの増加、広報活動

【リニューアルの内容】



【業態別リニューアル実施率】



レジャーランド&レクパーク総覧2016

●2015年10月31日発刊 ●A4判／縦型／470頁＋付録 CD-ROM ●定価 80,000円＋税

テーマパーク、遊園地、動物園、水族館、植物園、フラワーパーク、観光農業公園、公園・庭園、レクリエーション施設、アクアパーク、温浴施設、ミュージアム、ドーム・アリーナ、劇場など、**全国610か所のレジャー・集客施設を網羅**

《最新調査データ》

1. 全国レジャー・集客施設の2014年度業績(入場者数・売上データほか)

《分析レポート》

2. 業態動向・入場者数ランキングに加え、リニューアル動向や集客イベントの傾向、“食”に関わる集客への取組みなど注目の集客戦略の実態を詳解

《データベース》

3. 調査データはすべて CD-ROM に収録

詳細な編集内容はホームページをご覧ください

<http://www.sogo-unicom.co.jp/data/book/0520131001>

【会社概要】

社名： 総合ユニコム株式会社

所在地： 〒104-0031 東京都中央区京橋 2-10-2 め利彦ビル南館 6階

設立： 1975年1月28日

代表者： 代表取締役 河崎 清志

URL： <http://www.sogo-unicom.co.jp>

事業内容： ●経営情報誌の出版「月刊レジャー産業資料」「月刊プロパティマネジメント」「月刊フューネラルビジネス」「月刊シニアビジネスマーケット」ほか

●各種年鑑の出版（レジャーランド&レクパーク総覧、パチンコ産業年鑑、不動産金融プレーヤーズ名鑑）

●経営資料集・単行本の出版

●経営・開発セミナー、フォーラムの企画・開催

●企画・開発・運営のための調査・コンサルティング

●広告・セールスプロモーション・マーケティング

【本件に関するお問い合わせ先】

総合ユニコム株式会社 企画情報部 Tel：03-3563-0120 Fax：03-3564-2560